

# 政治学概論Ⅰ

## (14) 政治と政治学の未来

# 「政治」とは何か

## ■統治システムとしての政治

⇒まつりごと、「治める」=人々をまとめ上げる

## ■人間の生活、人生にまつわる欲望を受け止め、方向づける

⇒権力の作用、権力はどのように作られるか

## ■現実主義と理想のせめぎあい ニヒリズムとユートピア論 マキャベリ「君主論」(16世紀イタリア) 現実主義の古典 権力論 政治学の出発点 平等思想⇒人権 新たな政治学

# 民主主義における参加と責任

■力（power）⇒ 権力⇒ 民主主義による「公権力」

■民主主義の道のり = 自由と平等を求める政治過程

※ 本来は両立しにくいものを同時に実現しようとする困難さ  
参加と責任の政治システム 参加は拡大を続け、責任は？

■民主主義の可変性 安定的な運用には不断の注意が必要

逆戻りのある道 専制政府 全体主義 立憲主義による歯止め  
「すべての人を満足させる政治」⇒ファシズムへの道？

# 我々は今どこに立っているか

- 人間の不完全さ 富をめぐる争い 欲望の政治化
- 自由と平等⇒安全で豊かになる世界⇒地球の破壊？
- 主権国家という概念 ⇔ 地球規模の政治課題
- 新自由主義と民族主義 グローバル化と多文化の軋轢
- 少子高齢化と富の偏在（格差）アイデンティティ政治

# 政治と我々に求められるもの

- 現実の政治問題への意見 ⇔ 反対意見への洞察
- 理想・希望・現実⇒現実・考察・改良という政治プロセス  
※ 性急に結果や変化を求め過ぎないことも重要
- 自立した「個」と孤立の問題 政治コミュニケーション  
現実空間での協力・共同作業の必要
- 民主主義のバージョンアップ 参加と責任の再構築